

2020 年 7 月 16 日

文京区長 成澤 廣修 様
文京区教育委員会教育長 加藤 裕一 様

日本共産党文京区議会議員団
日本共産党文京地区委員会

コロナ感染拡大防止のためのPCR検査の抜本的拡充を求める要望書

コロナ感染が新たな広がり続ける中、感染症対策や給付金、融資あつせん、また事業所への支援など対策を進めていることに敬意を表します。

東京でのコロナ感染数は連日三桁を超える状況が続いています。1週間平均で人口10万人あたりの新規感染者数が8人を超え、政府が感染拡大防止のために都道府県が社会に協力要請する基準としてきた2.5人どころか、緊急事態宣言を出した際の5人をはるかに超えています。

今月10日、区立認可保育園で保育士、園児の罹患が判明し、15日現在、PCR検査を113人、そのうち陽性者は保育士7人、園児26人となっています。また区立小学校児童にも感染者が出るなど、区民からの不安や生活の心配の声が尽きません。

都立学校でも学校再開後に一人の生徒の感染が確認されましたが、学校での濃厚接触者はいないとの保健所の判断により、PCR検査は行われませんでした。しかしその後、濃厚接触者以外から2人目の感染が判明しています。短時間の接触でも感染する可能性や、机などの共有物やドアノブなどを介して感染することもあることから、濃厚接触者だけの検査では不十分です。また正確な情報が公開されなければ、区民は冷静な判断や行動をすることが困難になります。

当該保育園は臨時の休園措置がとられ、園舎の消毒もされていますが、同時に、感染をこれ以上拡大させない、また保育園や学校など直接関係者を始め区民の不安を払拭し一日も早く日常の社会生活を取り戻すために、あらゆる可能な限りの対策をとるべきだと考えます。

以上を踏まえて、以下、区長と教育長に要望します。

1 感染者の広がった当該区立保育園の濃厚接触者に限定しているPCR検査を、緊急に関係者全員を対象にすること。また、同じく陽性者が出た小学校、区

立図書館についても、急いで関係者全員の PCR 検査をすること。

2 今後、学校や児童館、育成室、保育園などで教職員や児童生徒の感染があった場合は、少なくとも担任や保育士、在籍するクラスの児童生徒全員を対象に PCR 検査をすること。職員室を共有する教職員については全員に PCR 検査をすること。

3 現状を踏まえて、関係者を中心に施設・地域を限定し、住民も対象に PCR 検査を行うこと。

4 介護・医療従事者、障害福祉関係の労働者、保育士や学校の教職員などを対象に、定期的な PCR 検査を開始すること。

5 文京区の PCR 検査を受けた人数と、そのうちの陽性者数と陰性者数、また入院者数、隔離者や回復者など、東京都に報告している内訳を区民に公表するなど、適切な情報公開をすること。